



馬の学校

馬の学校通信

2016. 3 vol.61

発行 馬の学校

事務局 〒468-0007 愛知県名古屋市長区植田本町 3-1105-302 TEL/FAX:052-805-2920

E-mail : mine@horseschool.org ホームページ : http://www.horseschool.org



春のプログラム 参加者募集!

馬とのふれあいプログラム (六甲山牧場)

①日 程 : 5月14日(土) 11時~13時30分
対 象 : 3歳~大人(定員6名・ご家族でも参加できます)
内 容 : ブラシがけ、馬とお散歩、乗馬、にんじんあげ
ホースショー見学

参加費 : 1人¥4,000(現地集合・解散)

②日 程 : 5月15日(日) 11時~13時30分

対 象 : 高校1年生~大人(定員6名)

内 容 : ブラシがけ、馬とお散歩、乗馬、
馬とのコミュニケーションの体験、にんじんあげ

参加費 : 1人¥5,000(現地集合・解散)

*上記参加費のほかに、入園料(大人500円、小学生以上200円)がかかります。

*申し込み締切 5月9日(月)

馬とのふれあいプログラム (服部緑地乗馬センター)

①日 程 : 6月4日(土) 午前8時40分~10時40分
対 象 : 小学2年生~高校3年生(定員4名)
内 容 : ブラシがけ・乗馬(成馬にてレッスン)
馬小屋掃除・にんじんあげ

参加費 : 1人¥8,000(現地集合・解散)

②日 程 : 6月5日(日) 午前8時40分~10時40分

対 象 : 3歳~小学2年生(定員6名)

内 容 : ブラシがけ・乗馬(ポニーにて引き馬)
馬小屋掃除・にんじんあげ

参加費 : 1人¥5,000(現地集合・解散)

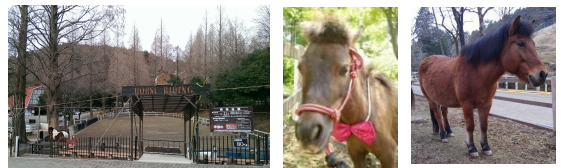
*申し込み締切 5月24日(火)

★岐阜県本巣市の「ぐりん・はあと」でのふれあいプログラムは、春は行わず、次回は秋を予定しています。

★お申し込みは、会員の方は3月18日(金)から、一般の方は3月20日(日)から、電話、FAX、メールにて事務局まで!(留守電の場合は、お名前と希望プログラムをお伝え下さい。折り返し、こちらからお電話いたします。)

六甲山牧場の紹介

この春からプログラムを行うことになった六甲山牧場は、羊やヤギ、馬、牛などの動物たちとふれあったり、遙か海まで望める眺望や自然を満喫できる牧場です。馬は木曽馬や北海道和種(道産子)、ミニチュアホース、シェットランドポニー、ハフリンガーがいて、プログラムではミニチュアホースでお散歩、木曽馬で乗馬の予定です。また場内をヒツジが自由に歩いたり、様々な体験ができるので、プログラム終了後もいろいろな動物とのふれあいなどを楽しむことができます。



2016年度会費納入のお願い

2016年度の会費納入につきましては、同封の郵便振替用紙にて、あるいは下記の口座番号までお願いいたします。(いずれかをお選び下さい)

<子ども会員・家族会員・大人会員>

プログラムに参加される方・通信の発送を希望される方
年会費 1,000円

<賛助会員>

馬の学校を応援して下さる方(プログラム参加・通信の発送も含む)

賛助年会費 3,000円~

<郵便振替 口座番号・加入者名>

0930-4-83224 馬の学校

*会員特典:優先申し込み/年末にはカレンダーをプレゼント!(会員証の発行は行いません)





馬のおもちゃ⑪ ぬいぐるみ

ドイツのぬいぐるみメーカー、NICI（ニキ）の馬のぬいぐるみです。以前紹介した「ミルクィ」と名づけたぬいぐるみの姉妹品です。こちら友人からのプレゼントですが、4本足で自立して、より馬らしいぬいぐるみです。小須田牧場にいる、毛色が似た馬の名前から、我が家では「ロッチィ」と名付けました。たてがみがふさふさなので、娘はブラシをかけたなり、ドライヤーをかけたなりして遊んでいます。（ミルクィのたてがみはボサボサになってしまったので・・・笑）



おすすめの本

『もりのともだち』 小学館

作・絵：アンドレ・ダーハン 訳：田島かの子

秋の森を、テオは馬に乗ってお散歩。そこで森の番人であるシカさんに出会い、森の運動会を見に行くこととなります。最後は、約束通りにテオのお誕生日にシカさんが駆けつけてくれます。

アンドレ・ダーハンといえば『ぼくのともだちおつきさま』が有名ですが、ほのぼのとした雰囲気、気の絵が、心を和ませてくれます。



私の出逢った馬たち (3) ピーク その2

大学4年生になる春休み、自分の中で就職試験として約1か月ピークとかかわり、ドキドキと一緒にワクワクしながら、ピークからいろいろなことを教えてもらうことになりました。まずひとつ目は、馬に向き合う姿勢。自分の中に「一定さ」を持っているかが問われ、また「なぜできないのか？」ではなく、「どうすればできるようになるのか？」を考えることが大切でした。そして調教によって「馬が変わる」ということは、「自分も変わる」ということなのだと思います。相手だけを変えようとしてもだめで、自分が変わったときに初めて相手も変わるので。

ふたつ目は、馬との信頼関係。初めのうち、正直言って私はピークに乗るのも怖かったです。走り出したら止められないかもしれない、振り落とされるかもしれない、と。「馬に“この人といったら安心”と思ってもらえるような人になるように」とオーナーに言われていましたが、それは人が「この馬といったら安心」と思えるかどうかなのだと思います。馬を信じることは、自分を信じることであり、それは他者を信じることにもつながるのだと学びました。

春休みも終わりに近づいたころ、ピークで外乗に行く機会がありました。初めて馬場の外に出るので、とても緊張しました。でもピークは思いのほか落ち着いていました。そのとき、心から、「ピークなら大丈夫」と思えました。そして、ほんのちょっとでも、ピークが「この人といったら安心」と思ってくれたのかもしれないと思うと、とても嬉しかったです。ピークとの出会いによって、馬にかかわる仕事をしたいという気持ちが確かなものになりました。



編集後記

この春は六甲山牧場でのプログラムがスタートします！昨年の春、「ナチュラルホースマンシップ」という馬とのコミュニケーションを学ぶ講習会で、六甲山牧場の馬担当の方に出会ったことがきっかけでした。六甲山牧場の自然を生かし、場内をミニチュアポニーと一緒に散歩したり、ナチュラルホースマンシップを取り入れたホースショーを見学したりと、六甲山牧場ならではのプログラムを計画していますので楽しみに！

娘は無事に3歳を迎え、言葉が遅いのでは？という心配をしたのがウソのように、おしゃべり大好き、歌うの大好き（笑）、そして「自分で」できることに喜びと誇りを感じている今日この頃です。4月からは自主保育の年少クラスに参加。親と離れ、自然の中で遊び、先生やお友達とのかかわりの中でどのような成長が見られるのか、とても楽しみです。

(峯崎 友香理)

